



## LS・CO だより アセスメント編



今回は LS (リーディングスタッフ) と CO (コーディネーター) が管理している本校の検査を簡単に紹介します。

注) 実施にあたっては、勝手に持ち出したりせずに、LS や CO に必ずご相談ください。

注) アセスメントの倫理規定や実施にあたっての校内での手続きなどもあります。資格を要する検査や守秘義務のある検査もあり、誰もが自由に扱えるものではありません。

	検査名	一言コメント
知能・認知・発達検査	WISC-IV (ウイスク・フォー)	最も有名な標準化された知能検査です。知的な水準と、年齢群と比較した認知能力、個人内の得意な能力・苦手能力などが分かります。
	K-ABC (ケー エービーシー)	K-ABC II が出版されたので旧検査となります。今は実施することはありませんが、継次処理・同時処理などの視点は勉強になります。
	グッドイナフ人物画知能検査	子どもが描いた絵から、知的発達を測定します
	新版 K 式 200 I	乳児～成人まで、発達の通過を見る検査です。西日本で広く実施されています。
社会適応	Vineland-II (ヴァインランド・ツー)	社会適応の力を測定します。
	S-M 社会生活能力検査 (第 3 版)	実生活での能力についての検査です。
読み書き・学習	STRAW-R (ストロー アール)	読み書きに関するつまずきを把握するための検査です。
	CARD 包括的領域別読み能力検査 (カード)	読みに関する能力を把握するための検査です。
	URAWSS II (ウラウス・ツー)	読み書きに関するつまずきを把握するための検査です。
	URAWSS English (ウラウス・イングリッシュ)	英語の学習に関する読み書きの力をみる検査です。

	MIM (ミム)	音韻に関する力を把握する検査です。 (通常の学級で実施可能)
	LD-SKAYP (エルディー スカイプ)	実施には資格が必要です。対応を検討中。
	LDI-R (エルディーアイ・アール)	発達障害に関するチェックリストです。
コミュニケーション	LCスケール (エルシー スケール)	言葉やコミュニケーションの力を診る検査です。
	LCSA (エルシー エスエー)	言葉やコミュニケーションの力を診る検査です。
	絵画語彙発達検査(PVT-R)	指さして応え、語彙力を測定します。
視覚	WAVES (ウェーブス)	視機能・視知覚などに関する能力などが把握できます。 (集団実施も可能)

まず、検査を行うことの一番のメリットは「子どもの力を客観的に・正確に把握することができる」ことです。そのことが「根拠(エビデンス)に基づいた指導につながり、より適切な指導や支援につながると言えるでしょう。

また、発達検査の勉強を進めると、次第に「どんな力を測っているのか」「どんな検査項目があるか」が分かってきます。自ずと、子どもたちの普段の様子も、そうした視点と結び付き、「次の課題は・・・」など、視点を大きく広げることに役立ちます。

さて、そうした検査ですが、不定期でLSやCOが主体となって、校内自主勉強会を行っています。アナウンスがあればぜひ参加してくださいね。

#### 地域の先生方へ



検査の種類にもよりますが、他機関での実施した結果を支援学校が一緒に考えることもできます。検査の解釈においてお悩みのことがありましたら、

本校LS(リーディングスタッフ)までご連絡ください。